DIAMOND
Quarterly
[ダイヤモンド クォータリー]

東証一部上場企業の経営者・役員、約20,000名を
含む50,000名のエグゼクティブに直送するマネジメント誌

2022年 夏 号
＜7月下旬発行予定＞

〈常設広告企画〉

DXプロジェクト最前線

《本号の特集》

グリーンイノベーション
—“トレードオン”へのトランジション戦略—

ダイヤモンド社

■企画タイトル

DXプロジェクト最前線（仮題）

■企画主旨

ここ数年、デジタル変革（DX）の必要性が叫ばれていますが、成功したと言われているプロジェクトはそれほど多くなく、ほとんどの企業は試行錯誤しながらプロジェクトを推進しているのが現状でしょう。

本企画はDXプロジェクトを行なっている企業の担当者へのインタビューや事例紹介を通じてDXを成功させるためのヒントや気づき、人材育成や組織づくりについて紹介していきます。

掲載形式：事例取材もしくはケーススタディのレポート形式

対象企業：ITベンダー、SIer、コンサルティングファーム、など

DIAMOND Quarterly

■広告タイアップ（2ページ～）

スポンサー企様の **企業広告、製品・サービス**の特長や優位性、導入メリットなどを訴求いただける **記事体広告**です。

＜掲載イメージ＞

●広告タイアップ2ページの場合
https://www.diamond.co.jp/go/dquarterly/21/

企業ロゴ

問い合わせ先

クレジット
（制作：ダイヤモンド社ブランドコンテンツチーム）

＜掲載料金＞

ページ数	料金
2ページ	**2,000,000円**
4ページ	**4,000,000円**
6ページ	**6,000,000円**

※取材・制作費を含みます。
※料金は税抜です。

■DQオンラインへの転載

雑誌に掲載したコンテンツ（タイアップ記事）を
オンライン転載し、リーチを拡大します。

《展開イメージ》

●DQオンライントップ

https://diamond.jp/list/quarterly

●タイアップページ

●DOL、DHBR.net

※掲載内容は誌面と同様です。
※誘導はDQオンライントップ
　およびダイヤモンド・オンライン、
　DHBR.netなどから行います。
※ご要望により、オンライン単独での
　掲載も承ります。

＜転載料金＞

ページ数	料金	想定PV
2ページ	700,000円	3,000PV
4ページ	1,400,000円	6,000PV
6ページ	2,100,000円	9,000PV
8ページ	2,800,000円	14,000PV

※雑誌料金への追加料金です。
※誘導期間は1カ月です誘導方法は弊社に一任となります。
※オンラインのみでの展開も可能です。仕様/料金等は
　ご相談ください。
※料金はすべて税別です。

■DOLもしくはDHBR.netでのリード獲得

ご提供いただいたホワイトペーパーで、ターゲットの**リード獲得**が可能です。

＜転載料金＞

■ コンテンツ支給型・リード件っz数保証型タイアップ

リード50件保証…750,000円

掲載メディア：DOLもしくはDHBR.net
※DQオンラインでのリードは実施しておりません。
誘導枠：DOL、DHBR.netメールマガジン、各種誘導枠より
その他：補償件数に達し次第終了し、掲載終了後、掲載レポートを提出いたします。

《展開イメージ》

●DOL or DHBR.net

誘導

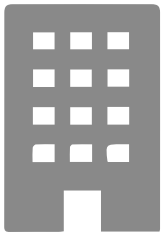
●ランディングページ

遷移

●個人情報登録フォーム

プロファイル情報

●広告主



ダウンロード

●ホワイトペーパー

●ユーザー

《リードジェネレーション免責》
獲得リード属性、ご希望件数などにより獲得単価が変わる場合がございます。
また案件やご要望の属性によっては、お受けできない場合もございます。詳細につきましては、弊社営業にお問い合わせください。

■純広告料金

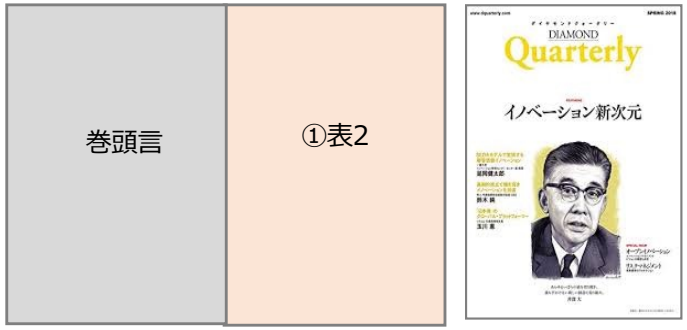
表紙周りの**特別なスペース**。中面も掲載可能です。

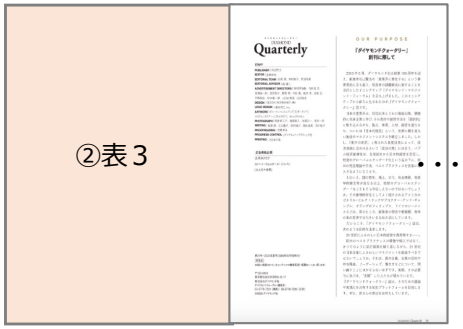
＜掲載料金＞

ページ数	料金	サイズ（天地×左右）
①表2	**1,000,000円**	280×210mm※
②表3	**900,000円**	280×210mm
③表4	**1,300,000円**	260×190mm
見開2ページ	**1,800,000円**	280×420mm
1ページ	**900,000円**	280×210mm

※原稿はスポンサー企業様にてご用意ください。
※表2は見開きも可能ですので、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。
※料金は税別です。

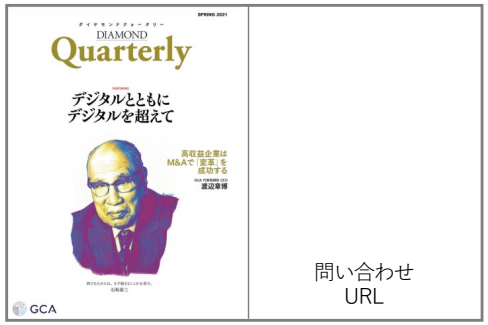
表紙





③表4

■抜き刷り



表紙　　裏表紙

部数／ページ数	4 ページ	6ページ	8ページ
1,000部	319,000円	334,000円	349,000円
2,000部	332,000円	355,000円	373,000円
3,000部	345,000円	376,000円	397,000円

●表紙は弊社が定める抜き刷り専用のデザイン・フォーマットとなります。
●裏表紙には、ロゴ、住所、URLなどの簡単な企業情報を入れていただくか、純広告を入れることが可能です。
※上記以外の部数、ページ数の料金はお問い合わせください。

■同梱サービス(3社限定)

●1号あたり**3社限定**で、経営者**20,000名**へ本誌を送付する際に、企業様からご提供いただくパンフレット、広報誌、セミナーチラシなどを同梱するサービス。
※その他、ダイヤモンド社からのお知らせが入る場合がございます。
●利用料金：**1,500,000円**
●利用条件：**本誌に100万円以上のご出稿主様限定**
●同梱規定：3社限定、重量50g以内、厚さ5mm以内
●印刷物は広告主様にてご用意ください。

■誌面PDF

●利用料金：1ページあたり　**100,000円**
●利用期間：ご利用開始日から１年間
●使用範囲：自社ホームページ、イントラネットでの掲載に限ります。
※他社メディアでの掲載はご遠慮ください。

料金はすべて税別です。

ダイヤモンド クォータリー（DQ）とは

DIAMOND Quarterly

東証一部上場企業の役員20,000名を含む50,000名のビジネスエグゼクティブに直送するマネジメント誌

■メディアコンセプト

「21世紀にふさわしい日本的経営の再発見。」が**DQ**のメディアコンセプト。

日本の産業界は戦後以降、積極的に欧米企業に学び、その長所や特長を「選択的」に取り込みながら製品、事業、人材、経営そのものを進化させ、ついには「日本的経営」という世界に類を見ない独自のマネジメント・システムを確立しましたが、バブル経済崩壊後は自信喪失から日本的経営を否定し、経営のグローバルスタンダード化という名の下に欧米の経営理論や手法を安易に導入した結果、日本企業の強みが急速に失われてしまいました。

そもそも、国の歴史、風土、文化、社会規範、地政学的要因等が異なる以上、経営のグローバルスタンダードなど存在しえません。その象徴的存在としてよく紹介される米GE、P&G、蘭フィリップス、独シーメンスなどは、実のところ創業者の理念や価値観、発祥の地の歴史や文化を今なお大切にしており、それが彼らの強さの源泉となっています。

DQは、冒頭の「21世紀にふさわしい日本的経営の再発見。」を掲げ、それを実現するための議論や実践知を共有する「知的プラットフォーム」を目指します。

ダイヤモンド クォータリー編集長　岩崎卓也

■媒体概要

創　　刊	：	2016年10月
発　　行	：	年4～5回発行（非売品）
判　　型	：	A4変型版
ページ数	：	60～100ページ
対象者	：	東証一部上場企業役員を含むビジネスエグゼクティブ
配布部数	：	約50,000部 ※雑誌版20,000名＋デジタル版30,000通

■特集タイトル（仮題）

グリーンイノベーション―“トレードオン”へのトランジション戦略―

■企画概要・趣旨

2050年カーボンニュートラル、2030年CO2排出量46%削減という国家目標に向け、産官学が一斉に走り始めました。この野心的目標を達成するためには、事業構造、テクノロジー、金融・資本市場、規制・法制度など、さまざまな面でイノベーションを加速させることが必要です。

しかしながらイノベーションに向けて大胆な投資を行うには、環境の維持・発展と企業成長を従来のトレード オフの関係から“トレードオン”へと転換するトランジション戦略を構築することが不可欠です。

そこで、本特集では「**グリーンイノベーションに向けたトランジション戦略**」のあり方を考察します。

●特集インタビュー候補

［CxO候補］

①日立製作所 代表執行役 執行役副社長
アリステア・ドーマー氏
（社長補佐/ビルシステム事業、鉄道事業、環境戦略担当、Chief Environmental Officer兼環境事業成長戦略本部長）

②不二製油グループ本社 取締役兼上席執行役員
門田隆司氏
（最高ESG経営責任者）

［有識者候補］

国際環境経済研究所理事・主席研究員
筑波大学客員教授
竹内純子氏

●巻頭経営者インタビュー/巻頭アカデミアインタビュー

・バンダイナムコHD
・ソニー

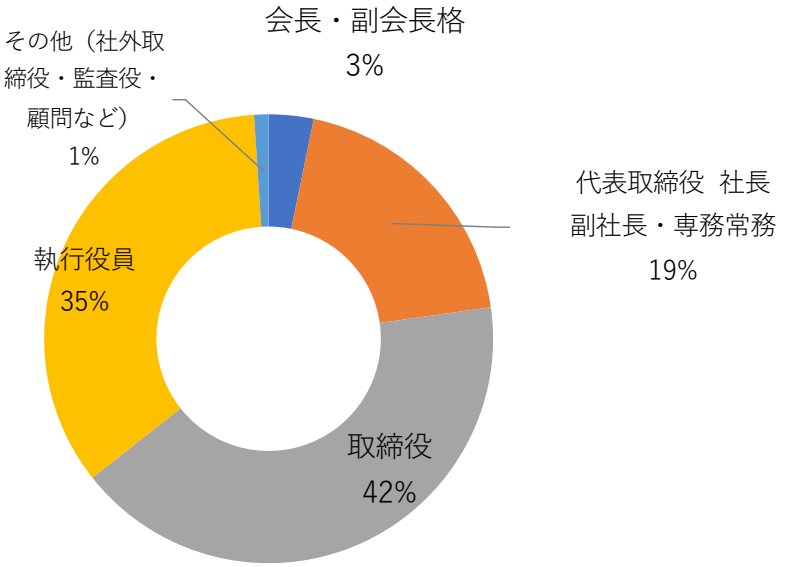
東京工業大学名誉教授　本川達雄氏

※企画内容、インタビュー候補は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

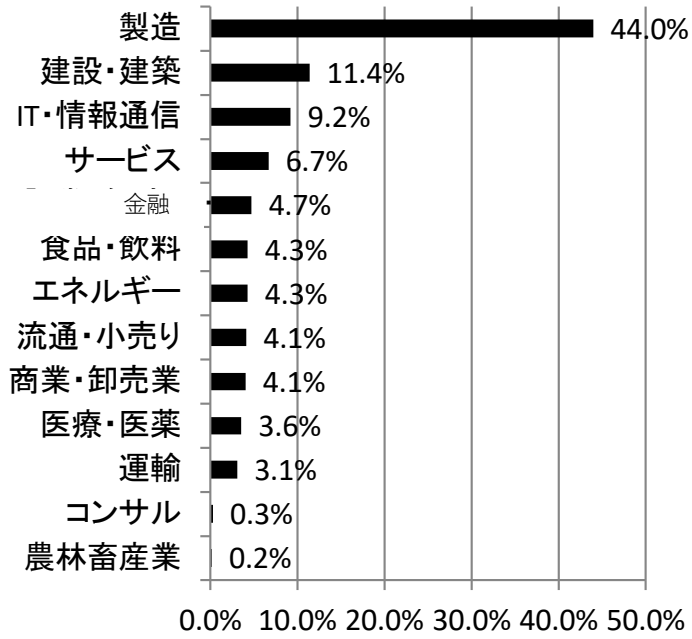
■本誌配布先

※2019年10月秋号のダイレクトメール配布リストより作成
（特集内容により送付先が変更となる場合がございます）

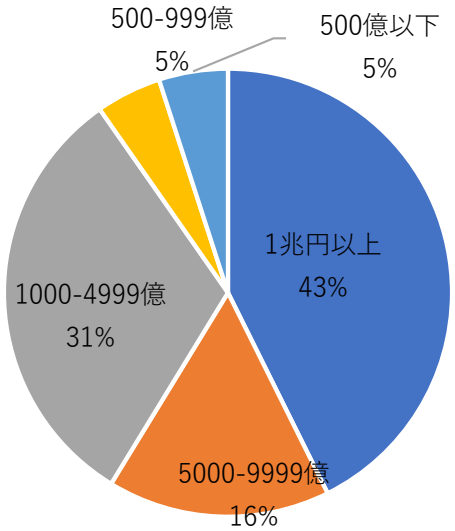
【役職】



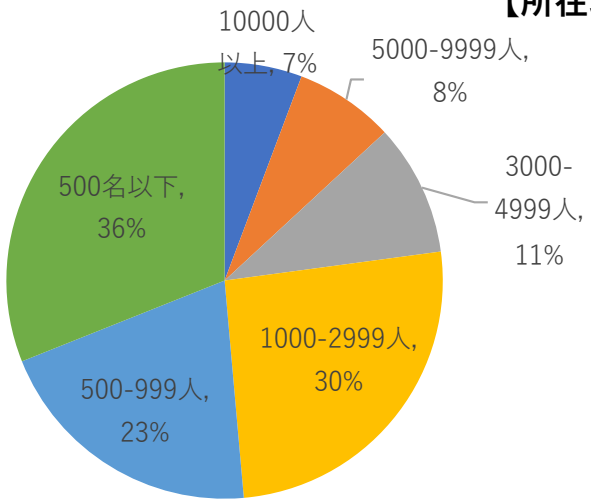
【業種】



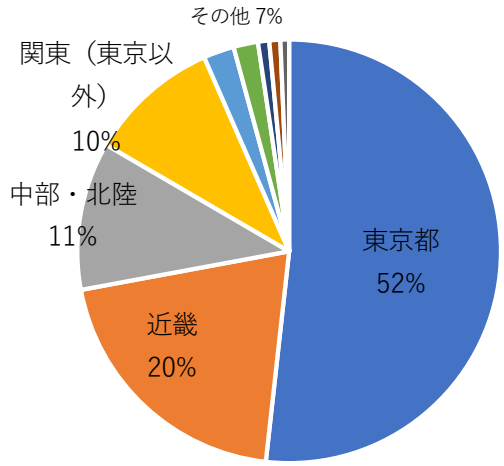
【売上】



【従業員規模】



【所在地】

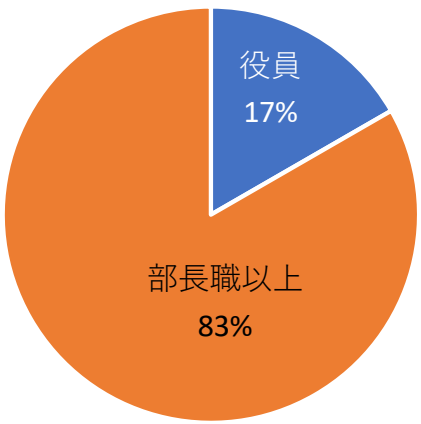


■デジタル（PDF）版　配布先

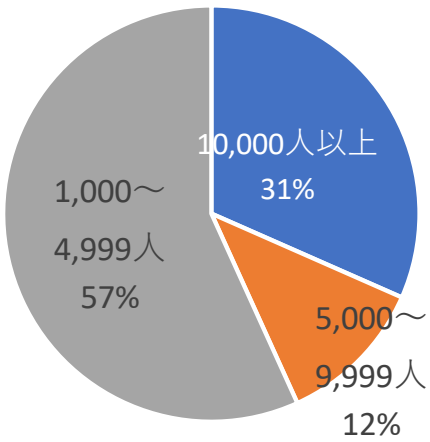
DOL、DHBR.netに登録するメルマガ会員のうち、**企業規模1,000名以上の経営者・役員、部長クラス30,000名**に配信。

※配信時期により通数は変動します。

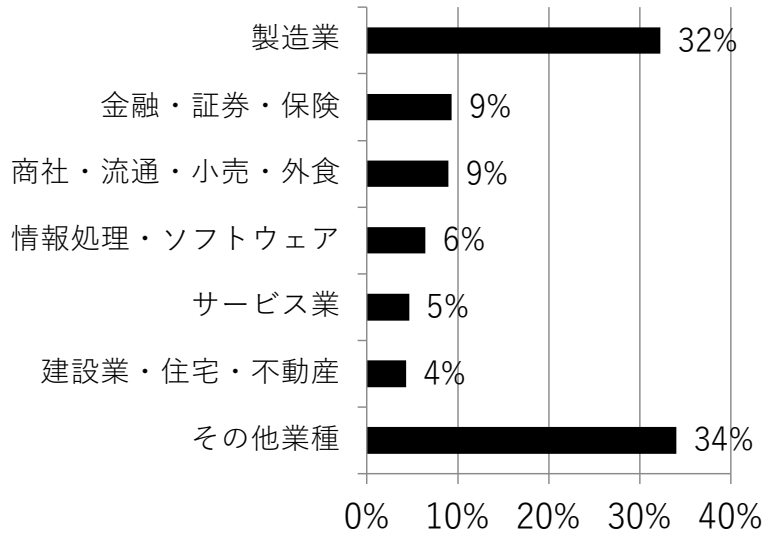
【役職】



【従業員規模】



【業種】



■経営者

これまでにご登場いただいた経営者　※前身の媒体を含みます。役職は取材当時。敬称略

朝田照男　（丸紅 取締役会長）
有馬浩二　（デンソー 代表取締役社長）
伊庭　保　（元・ソニー CFO）
牛尾治朗　（ウシオ電機 代表取締役会長）
奥　正之　（元・三井住友フィナンシャルグループ 相談役）
尾高和浩　（本田技研工業 執行役員）
垣内威彦　（三菱商事 代表取締役社長）
金川千尋　（信越化学工業 代表取締役会長）
久夛良木 健　（元・ソニー・コンピュータエンタテインメント 会長）
古森重隆　（富士フイルムホールディングス 代表取締役会長 CEO）
作田久男　（元・オムロン会長｜元・ルネサスエレクトロニクス会長兼CEO）
柵山正樹　（前・三菱電機 代表執行役執行役社長）
佐藤基嗣　（パナソニック 代表取締役 副社長執行役員）
澤田道隆　（花王 代表取締役社長執行役員）
志賀俊之　（日産自動車 取締役｜産業革新投資機構 代表取締役会長）
鈴木　純　（帝人 代表取締役社長執行役員CEO）
谷崎勝教　（三井住友銀行フィナンシャルグループ 取締役執行役専務/グループCIO）
谷本秀夫　（京セラ 代表取締役社長）
玉川　憲　（ソラコム 代表取締役社長）
津賀一宏　（パナソニック 代表取締役社長）
津谷正明　（ブリヂストン 取締役 代表執行役CEO兼取締役会長）
中田卓也　（ヤマハ 代表執行役社長）
中畑英信　（日立製作所 代表執行役 執行役専務）
中山泰男　（セコム 代表取締役会長）
楢崎浩一　（SOMPOホールディングス グループCDO/常務執行役員）
東　和浩　（りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長）
東原敏昭　（日立製作所 取締役代表執行役社長 兼最高経営責任者）
藤野道格　（ホンダ エアクラフト カンパニー CEO）
峰岸真澄　（リクルートホールディングス 代表取締役社長兼CEO）
三村明夫　（元・新日鐵住金 相談役名誉会長｜日本商工会議所 会頭）
宮永俊一　（前・三菱重工業 取締役社長 CEO）
吉永泰之　（前・SUBARU 代表取締役社長）

オムロン
代表取締役社長
山田 義仁 氏

堀場製作所
代表取締役会長 兼
CEO 堀場 厚 氏

サントリー
代表取締役社長
新浪 剛史 氏

住友電気工業
会長
松本 正[illegible] 氏

■アカデミア

これまでにご登場いただいたアカデミア
※前身の媒体を含みます。 役職は取材当時・敬称略

伊丹敬之　（国際大学 総長｜一橋大学 名誉教授）
伊藤友則　（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授）
岩井克人　（国際基督教大学 特別招聘教授）
江川雅子　（一橋大学大学院 商学研究科 教授）
老川慶喜　（跡見学園女子大学 マネジメント学部 教授｜立教大学 名誉教授）
大湾秀雄　（早稲田大学 政治経済学術院 教授）
蒲島郁夫　（熊本県知事｜東京大学名誉教授）
川上浩司　（京都大学 情報工学特定教授）
川本裕子　（早稲田大学ビジネススクール 教授）
喜連川優　（国立情報学研究所 所長｜東京大学 生産技術研究所 教授）
橘川武郎　（東京理科大学 イノベーション研究科 研究科長｜東京大学/一橋大学 名誉教授）
榊原清則　（中央大学ビジネススクール 教授｜慶應義塾大学 名誉教授）
高野陽太郎（東京大学 名誉教授）
堂目卓生　（大阪大学大学院 経済学研究科 教授）
武田晴男　（東京大学名誉教授）
名和高司　（一橋大学ビジネススクール 客員教授）
沼上　幹　（一橋大学 副学長）
延岡健太郎（大阪大学 経済学部 教授）
平野雅章　（早稲田大学ビジネススクール 教授）
本田由紀　（東京大学大学院 教育学研究科 教授）
三品和広　（神戸大学 経営学研究科 教授）
室井照平　（会津若松市 市長）
森川博之　（東京大学大学院 工学系研究科 教授）
森本博行　（首都大学東京 名誉教授）
宮本又郎　（大阪大学 名誉教授）
安田隆二　（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 特任教授）
山田英夫　（早稲田大学ビジネススクール 教授）
横山禎徳　（広島大学マネジメントスクール学長｜元・東京大学EMPディレクター）
米倉誠一郎（法政大学 イノベーション・マネジメント研究科 教授｜一橋大学 名誉教授）
和田一夫　（東京大学 名誉教授）
アンドレイ・ハジウ　（元ハーバード・ビジネス・スクール 准教授）
ゲイリー・ハメル　（ロンドン・ビジネス・スクール 客員教授）

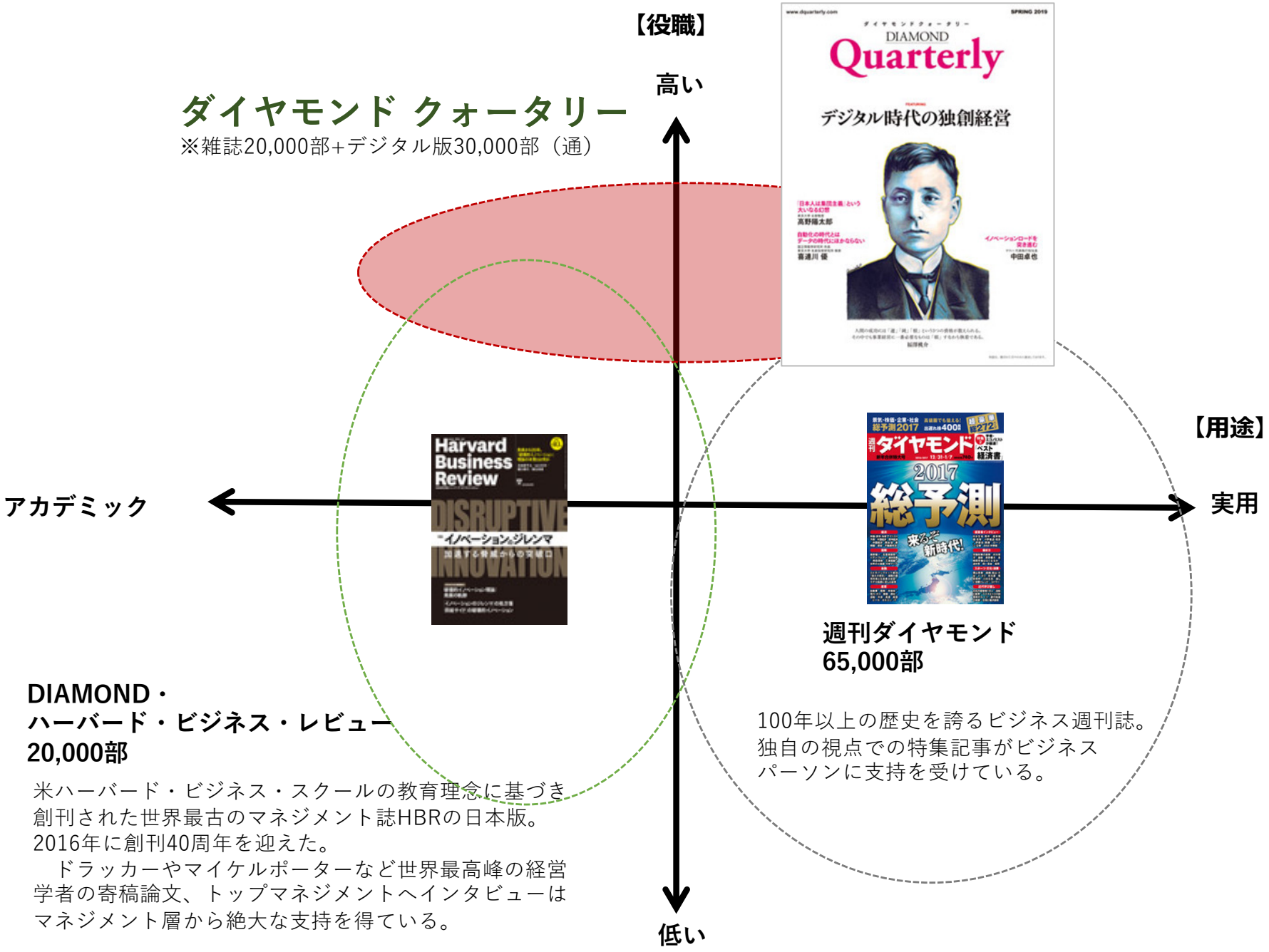
一橋大学 名誉教授
野中郁次郎

神戸大学 名誉教授
加護野忠男

東京大学 大学院
経済学研究科教授
藤本隆宏

【参考】ポジショニングマップ（ダイヤモンド社他ビジネスメディアとの比較）

DIAMOND Quarterly



DIAMOND Quarterly

ダイヤモンド クォータリー 2022年夏号

■発行日

本誌（東証一部上場企業の経営者20,000名への送付）	2022年 7 月下旬
オンライン転載（有料オプション）	2022年 8 月上旬
デジタル版（ターゲティングメール）の配信	2022年 8 月上旬

■締切

編集コラボ・ 広告タイアップ申込	**2022年3月18日（金）**
取材締切	**2022年4月22日（金）**
同梱納品締切	**2022年7月1日（金）**
純広告（表2、表4、表3）、申込締切	2022年6月10日（金） ※決定優先となるため空き枠はお問い合わせください。

※スケジュールは変更になる場合がございます。

■お問い合わせ

株式会社ダイヤモンド社 ビジネスメディア局
ソリューション営業部　担当：鈴木博之／平野／寺田
info-dq@diamond.co.jp
〒150-8409 東京都渋谷区神宮前6-12-17
広告：TEL 03-5778-7220　編集：TEL 03-5778-7731